

ARTE PIAZZA BIBAI

みんなの大切なひろばを守るために・・・



■ 22年度のおもな出来事

4 5 6 7

ギャラリー

6月5・6日
安田侃の「こころを彫る授業」



6月20日
第6回アルテの森語りー朗読会ー

カフェアルテ / 体験工房

5月8日
美唄市市制施行60年セレモニー



6月12日
第20回森の広場の音楽会



アートスペース

6月3日 彫刻「真無」設置



7月11日 「美しい唄」SPECIAL



その他



イタリアの白大理石などを使って彫るのは自分の“こころ”です。
自身のこころと向き合いながらコツコツ石を彫る時間。

日 時：毎月第1土曜・日曜の10時～16時
場 所：アルテピアッツァ美唄 北海道美唄市落合町栄町
ストゥディオアルテ
(体 験 工 房)

参加費： 一 般 ／ 15,000円(白大理石)
12,000円(軽石)
中学生以下／ 9,000円(白大理石)
6,000円(軽石)

8 9 10 11 12 1 2 3

8月5日～18日

空知とドイツの炭鉱遺産写真展



10月30・31日・11月1日
安田侃の「こころを彫る授業」

9月23日

第7回アルテの森語りー朗読会ー



11月21日

アートカフェvol110

「アン・サリー 音楽のチカラ」



12月23日

第8回アルテの森語りー朗読会ー



8月21日

イリス弦楽四重奏団コンサート



8月13日 アルテの盆踊り



12月21日

安田侃さん受賞記念パーティー



アルテピアッツァ美唄

ホームページリニューアルしました。

→ <http://www.artepiazza.jp/>



1 施設および環境の 維持・管理・保全



夏場は芝生や施設のメンテナンス、作品清掃などを、冬場は除雪や薪運びなどの活動を行い、来場者の安全確保につとめました。流路・池清掃は4月から11月までの間、月1～2回のペースで休館日を含む2日ばかりでおこない、ボランティアの方々のご支援を頂いて実施することもありました。5～10月はほぼ毎土曜朝1時間半行い、ボランティアの方達に参加していただき、草むしりや折れ枝拾い、落ち葉集めなどを行いました。なかには自主的に時間を作られ害虫駆除や清掃美化のボランティア活動をされていた方もいらっしゃいます。心より感謝いたします。

今年度は、緊急時対応マニュアルの改訂や非常用通報装置の設置、栄幼稚園と合同での避難訓練など安全管理面の強化をおこないました。また、例年春先を中心に近隣でヒグマの目撃情報があることから、来訪者の安全管理について専門家を招き勉強会をおこなったり、日常的な巡回や対応策を検討し実施しました。また、アートのスペース裏の芝生部分のぬかるみ解消のために暗渠を通したり、アートのスペース事務棟屋根の補修のためにペンキ塗布をおこなうなど、市との協議の上、必要な改修工事を手作業でおこないました。

2 利用者や来訪者 への対応



来訪者は四季を通じて全道・全国各地からあり、団体への説明案内についてはスタッフ3名が従事し、短い滞在時間の団体に対しても5～10分程度でアルテピアッツァ美唄の概要をお話しし、個人での再訪につなげるよう努めております。作品に感動し何度も訪ねてこられる方、カフェにたびたび来られてはゆっくり過ごされる方、木造校舎や炭鉱の歴史を懐かしみながら昔話をスタッフに語ってくださる方などとの交流も引き続き盛んでした。限られたスタッフでの対応ですが、アルテの魅力を伝えることができるように取り組みました。また、アルテの受付窓口となっているギャラリーには、アートのスペース、ギャラリー、体験工房の施設利用に加え、緑地の広場での使用可否等大変多くの問い合わせを頂きました。実に様々な形態での利用希望をうけ、施設本来の作品鑑賞の空間としてのあり方との兼ね合いにその都度配慮しながらの対応をすすめました。

3 体験工房ストウデ ィオアルテの活用



『こころを彫る授業』を、毎月第一土曜日に開催したほか、安田侃さんが直接指導する授業もおこなわれました。最近では本州からの参加者も増え、繰返し参加や、その授業の続きとしての工房の個人利用も頻繁です。

また、今年度は美唄市内の中学校の美術授業にも活用していただきました。美唄東中学校は、深川市「アートホール東州館」館長による特別授業、美唄中学校は屋内外の彫刻鑑賞のあと粘土制作をおこないました。なお、このほかに1月はギャラリーを使って美唄東中学校が作品展示「自分の形心の形」を開催したり、2月に南美唄中学校が冬のアルテピアッツァ美唄で美術授業として野外活動をしたりしました。

4

カフェアルテ の運営



ストゥディオと同時にオープンしたカフェの営業は4年目となりました。珈琲の薫り漂うスペースで、静かにゆったりとした時間を過ごしてもらえるよう適切な接客をこころがけました。メニューとしては飲み物と手作りケーキ、地場の小麦を使ったパンのほか、夏にはソフトクリームや水出しアイスコーヒーが好評です。今年度は冬場のメニューとして、地元農家のぬくもりかぼちゃを使ったかぼちゃスープとパンのセットメニューを提供しました。

昨年度（平成21年度）大幅に伸びた来客数、売上ともに今年度は若干落ち着きを取り戻したようです。冬場の平日は営業時間を短くしつつも休館日以外はすべて開店し、寒い中アルテを訪ねてくださったお客様を薪ストーブを焚いてお迎えしています。

また、『こころを彫る授業』の時に参加者の利便をはかるため提供していた昼食は、調理スタッフの退職を機に一旦休止しましたが、昨年12月より地元農家の主婦のグループによる「かあさんの味」を用意し、美唄特産のお米や手作りの漬物や心づくしの料理のおいしさを楽しんでいます。そして、3年前から始まったカフェでの朗読会「アルテの森語り」も季節の節目での開催が定着し、毎回満席となっています。さらに、前年に引き続き北海道文化財団アートカフェが開催され、アンサリーさんの歌声が響き楽しいトークが繰り広げられました。

5

こころを彫る授業



ストゥディオアルテで行なわれる誰もが参加できる彫刻の授業です。イタリア産の大理石、国内産の軽石、どちらかの素材を選んでいただき、のみや金づち、棒やすりを使って自分の「こころ」を形にしていきます。上手に形にすることではなく、目にみえない自分のこころを石と向きあうことで自分と向きあい、それが「かたち」となることを目指します。平成19年4月からはじまり、毎月開催していますが、安田侃さんが講師となる授業も6月、10月に開催され、定員を超えるお申し込みをいただきました。また、制作途中の石を預かる仕組みも利用が大幅に増えているため、保管位置を整備し確実にお預かりするよう努めています。また、今年度も彫刻体験を組み入れたツアーを受け入れ、限られた時間ではありますが小さめの軽石を使って「こころを彫る授業」ダイジェストを体験していただきました。

6

「美しい唄」 SPECIAL

～YESTERDAY, TODAY AND TOMORROW～



音の広場に「真無」が設置されたことを記念して、7月11日（日）に「美しい唄」SPECIALを開催しました。心配された雨も朝のうちにあがり、特設野外ステージで午後1時から4時間近くにわたるコンサートとなりました。中西圭三さん、はいだしょうこさんによる美しい歌声を多くの家族連れが楽しみ、T o s h i さんや桜庭和さん、D R E A D N O T E のステージ後、再び中西圭三さんの「美しい唄」まで素晴らし感動のステージでした。1094名の来場者でにぎわいましたが、出演者・スタッフ総数は148名を数え、多くのボランティアに支えられてようやく実現できたイベントでした。

7 アルテの盆踊り



例年8月上旬に開催していた「アルテまつり」は昨年度の第5回を一区切りとし、今年度は「アルテの盆踊り」を8月13日に開催しました。地域の方や札幌・函館などから駆けつけてくださった方たちと炭鉱が盛んだった往時をしのびながら楽しく踊りました。こども盆踊りには浴衣を着た子どもたちが照れながら踊る姿が見られ、日が傾き始めた6時半からおとな盆踊りが始まりました。太鼓のやぐらの足元には栄幼稚園の園児たちとつくった「ころころキャンドル」を灯しました。こじんまりとした盆踊りでしたが、元炭鉱マンの方が「久しぶりだ」と踊りの輪に加わってくださるなどほのぼのとしたひとときでした。また、この時期にあわせてギャラリーでは「空知とドイツの炭鉱遺産写真展」～未来に生かす炭鉱の記憶、過去、現在そして未来へ～をNPO法人炭鉱の記憶推進事業団の協力で開催しました。

8 コンサート ・イベント



アートスペースやスタジオアルテでは多くの催しがありました。恒例の「林峰男チェロリサイタル」、「イリス弦楽四重奏団コンサート」や3年ぶりの「うずしおカルテットコンサート」には、熱心なお客様が多数来られ、春と秋に開催されている「森の広場の音楽会」には合唱や演奏などさまざまな方たちでたくさんの方が参加されて楽しい時間を過ごされていました。また、若い世代に人気の「ハナレグミ」のコンサートは大きな反響を呼んでいました。5月には美唄市市制施行60年セレモニーが開催された他、市内のピアノ教室の発表会、おやこ劇場、パフォーマンスなど、地域の文化活動などに大いに利用されました。

9 展覧会



ギャラリーを利用して写真、絵画、陶芸、染織などさまざまなジャンルの展覧会が開催されました。木造校舎の雰囲気や室内の彫刻作品、窓からみえる風景を上手に活用した展示の工夫もみられ、プロ・アマ問わず幅広い世代の作家が表現する作品にその都度新しい来場者の姿があります。また、年間を通じて活用がすすみ、例年年初には翌年度の予約が埋まり始めるような状況となっています。

10 書籍・グッズ等の販売 会報等の情報発信



販売事業では、ギャラリー及びカフェで、Tシャツ、版画、書籍、カレンダー、DVD、ポストカードなどを扱っています。今年度は、アルテピアッツアのミニガイドブック：通称「ばたばたアルテ」も販売を開始し、多くの来場者にお買い上げいただきました。

会報「アルテ通信」は今年度はvol.13、14の2号発刊しました。また、アルテの四季おりおりの様子や催事のお知らせなどは、ブログに週2～3本のペースで記事を掲載しています。また、ホームページのリニューアルをおこないました。（<http://www.artepiazza.jp/>）

そのほか、「平成21年度 地域づくり総務大臣表彰」の団体表彰に選ばれたことから、今年度受賞団体紹介ビデオが制作され、アルテピアッツア美唄の魅力をおりこんだNPO活動紹介の動画が完成し折々に活用しています。

11 緊急雇用観光人材育成委託事業

美唄市より緊急雇用観光人材育成委託事業を受託し、新規雇用を創出するとともに接遇研修や中国語研修を通じて美唄市の観光交流の広がりにも資する人材育成をおこないました。

■ 22年度 収支計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

「特定非営利事業に係る事業」分

（単位：円）

科 目	金	額	
（資金収支の部）			
I. 収入の部			
1. 会費収入		2,192,000	
2. 募金箱収入		668,266	
3. 寄付金収入		2,458,500	
4. 助成金収入		300,000	
5. 設置寄付金収入		6,000,000	
6. 受取利息収入		2,466	
7. 事業収入			
指定管理者事業	16,050,400		
工房活用事業	1,450,000		
コンサート事業	5,920,210		
イベント事業	41,820		
雇用委託事業	777,029	24,239,459	
8. 雑益		9,050	
収入 合計			35,869,741
II. 支出の部			
1. 事業費			
会報発行費	139,040		
指定管理者事業	16,631,954		
工房活用事業	1,625,931		
コンサート事業	6,258,563		
イベント事業	66,091		
雇用委託事業	782,421		
彫刻設置事業	1,133,857	26,637,857	
2. 一般管理費		7,399,002	
支出 合計			34,036,859
収支差額			1,832,882
前期繰越正味財産額			13,107,900
当期正味財産合計			14,940,782

「その他の事業」分

I. （収入の部）			
1. 販売事業収入			
書籍・グッズ販売収入	963,580		
委託販売手数料収入	278,734		
雑益	150,500		
（棚卸商品）	978,578	2,371,392	
2. 喫茶事業収入			
売上収入	8,667,220		
雑益	12,600		
（棚卸商品）	35,462	8,715,282	
3. 特別収入			
前期損益修正益		48,400	
収入 合計			11,135,074
II. （支出の部）			
1. 販売事業			
販売事業費	1,026,242		
（期首商品）	1,181,224	2,207,466	
2. 喫茶事業			
喫茶事業費	7,795,162		
（期首商品）	43,062	7,838,224	
支出 合計			10,045,690
収支差額			1,089,384
未払法人税等			297,700
前期繰越正味財産額			188,453
当期正味財産合計			980,137

アルテピアッツァ美唄

〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
メール arte@artepiazza.jp
ホームページ <http://www.artepiazza.jp/>

■開館時間 午前9時～午後5時 入場無料
閉館日 毎週火曜日、祝日の翌日（日曜日は除く）
12月31日～1月5日

■カフェアルテ 営業時間：午前10時～午後5時

- 交通
- 札幌より車の場合
道央自動車道利用で札幌JCTより35分、新千歳空港より60分
美唄IC下車、右折後、道道美唄炭山線を1.7km（約5分）
 - 札幌より電車の場合
JR函館本線 特急にて34分
美唄駅前よりバス20分
 - 東京より飛行機の場合
羽田→新千歳空港（約1時間20分）
新千歳空港よりJR快速エアポート→スーパーカムイにて110分

